

2025年度(令和7年)収支決算報告(概要)

2025年度は、社会福祉法人鎌倉静養館の創立・開設60年です。一法人一施設・経費老人ホーム(稲村方崎)から出発しました。

戦後、経済的に苦しい高齢者の生活の場として、1954年(昭和29年)、横須賀在住のクリスチャン実業家、近藤正一・てる子夫妻の出資により、財団法人鎌倉静養館(松尾造酒蔵・鎌倉雪ノ下教会牧師が理事長)を設立し、キリスト教の愛の精神によって運営する老人ホームを開設しました。稲村方崎にあったルーツである「基督教教役者鎌倉静養館」の別荘風木造建物を平屋建てに改築し、無料または低額で入居できる老人ホームです。

1963年(昭和38年)に老人福祉法が施行されたことに伴い、1965年10月に「社会福祉法人鎌倉静養館」を設立しました。12月にキリスト教の愛の精神をもって運営する老人ホームを引き継ぎ、老人福祉法にもとづく経費老人ホーム鎌倉静養館を開設しました。神奈川県民間施設第1号となり、創立設立60年を迎えました。

その後、待望の特別養護老人ホームを神奈川県並び鎌倉市の全面的なご支援を得て、1983年(昭和58年)5月に由比ガ浜の地に開設しました。2000年(平成12年)には、介護保険制度のもと、特別養護老人ホームは介護老人福祉施設として、加えて短期入居生活介護、通所介護、訪問介護、居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護と介護保険事業の幅を広げてきました。さらに、地域包括支援センターの運営を受託しました。また、2018年(平成30年)には、待機児童の解消のために、小規模の認可保育園を鎌倉市御成町の建物に開設しました。創立から60年、鎌倉静養館は地域の福祉の課題に取り組んで参りました。

昨今の少子高齢化、人口減少の現実にあつて、鎌倉静養館の高齢者福祉施設の特別養護老人ホーム・経費老人ホームの入居者の確保及び担い手である職員の確保が非常に困難な状況が続いており、2025年度の収支状況は悪化しました。法人全体(特別養護老人ホームを中心とした介護保険事業・経費老人ホーム・保育園)の活動収支決算():前年度)は、▲18.4百万円(▲10.0百万円)と大幅な欠損となりました。

今後の事業継続にあつては、高齢者福祉施設の特別養護老人ホーム・経費老人ホームに入居者の方々をお迎えすること、職員採用を確実に実施することに全力をもって取り組み、鎌倉静養館の収支状況を改善したいと思います。

そして、経営理念(隣人愛の精神に立つて)のもとに、お一人おひとりを大切に、おめでとうと祝福されて始まる保育事業、ありがとうと感謝できる、健やかな人生の営みを支える高齢者福祉事業とを、鎌倉静養館の事業継続の柱として、確実に維持することによって、地域に貢献できる社会福祉事業運営を前進していきたいと思ひます。

社会福祉法人 鎌倉静養館
理事長 西崎猛之

資金収支計算書

(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) (単位:千円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	介護保険事業収入	514,690
	老人福祉事業収入(経費)	114,606
	保育事業収入	131,511
	その他の事業収入	679
	経常経費寄附金収入	24,452
	受取利息配当金収入	257
	その他の収入	4,731
	事業活動収入計(1)	790,926
	人件費支出	522,531
	事業費支出	127,731
	事務費支出	131,602
	その他の支出	3,156
	流動資産評価損等による資金減少額	4
	事業活動支出計(2)	785,024
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	5,902
施設設備等による収支	施設整備等補助金収入	25,819
	固定資産売却収入	100
	施設整備等収入計(4)	25,919
	固定資産取得支出	29,940
	ファイナンス・リース債務の返済支出	3,432
	施設整備等支出計(5)	33,372
施設設備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		▲ 7,453
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	54,114
	その他の活動による収入	315
	その他の活動収入計(7)	54,429
	積立資産支出	27,818
	その他の活動による支出	20,296
	その他の活動支出計(8)	48,114
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	6,315
	予備費支出(10)	0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	4,764
前期末支払資金残高(12)		125,628
当期末支払資金残高(11)+(12)		130,392

貸借対照表

(2026年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	194,926	流動負債	65,961
現金預金	45,082	事業未払金	56,548
事業未収金	73,262	1年以内返済予定リース債務	777
未収金	2,092	職員預り金	4,646
未収補助金	42,863	未払費用	3,272
立替金	28,574	預り金	718
前払費用	3,589		
仮払金	70		
その他の流動資産	44		
徴収不能引当金	▲ 650		
固定資産	374,553	固定負債	43,879
基本財産	68,645	リース債務	1,270
建物	68,645	退職金給付引当金	42,609
その他の固定資産	305,908	負債の部合計	109,840
建物	63,077	純資産の部	
構築物	14,800	基本金	16,901
機械及び装置	1,772	国庫補助金等特別積立金	110,586
車両運搬具	2,680	その他の積立金	98,276
器具及び備品	44,096	社会福祉事業積立金	80,000
権利	32,499	特養修繕積立金	1,000
有形リース資産	1,716	経費事業運営積立金	2,092
ソフトウェア	51	岡記念基金積立金	66
無形リース資産	4,190	浅見記念基金積立金	337
退職給付引当資産	42,609	木村記念基金積立金	14,781
長期前払費用	142	次期繰越活動増減差額	233,876
社会福祉事業積立資産	80,000	(うち当期活動増額差額)	▲ 25,712
特養修繕積立金	1,000	純資産の部合計	459,639
経費事業運営積立資産	2,092	資産の部合計	569,479
岡記念基金積立資産	66	負債及び純資産の部合計	569,479
浅見記念基金積立資産	337		
木村記念基金積立金	14,781		

事業活動計算書

(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) (単位:千円)

勘定科目		決算額
サービス活動増減の部	介護保険事業収益	514,691
	老人福祉事業収益(経費)	114,606
	保育事業収益	131,511
	その他の事業収益	698
	経常経費寄附金収益	24,452
	サービス活動収益計(1)	785,958
	人件費	522,981
	事業費	127,731
	事務費	131,602
	減価償却費	24,638
	国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 10,553
サービス活動増減の部	徴収不能額	4
	その他の費用	131
	サービス活動費用計(2)	796,534
	サービス活動増減額 (3)=(1)-(2)	▲ 10,576
	受取利息配当金収益	257
	その他のサービス活動外収益	4,711
	サービス活動外収益計(4)	4,968
	その他のサービス活動外費用	3,156
	サービス活動外費用計(5)	3,156
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	1,812
	経常増減差額 (7)=(3)+(6)	▲ 8,764
特別増減の部	施設整備等補助金収益	25,819
	固定資産受増額	1,990
	固定資産売却益	100
	その他の特別収益	5,455
	特別収益計(8)	33,364
	資産評価損	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	25,819
	その他特別損失	24,493
	特別費用計(9)	50,312
繰越活動増減の部	特別増減差額(10)=(8)-(9)	▲ 16,948
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	▲ 25,712
	前期繰越活動増減差額(12)	232,711
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	206,999
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	50,162
	その他の積立金積立額(16)	23,285
繰越活動増減の部	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	233,876